

広島グアナファト親善協会

2016ひろしまフラワーフェスティバルに参加しました

広島グアナファト親善協会では、メキシコやグアナファト州との文化交流を深める活動の一環として、今年で40回目を迎えた「2016ひろしまフラワーフェスティバル」にメキシコを代表する楽団“マリアッチ”のステージ演奏提供とメキシコ・グアナファト州の物産販売で参加しました。

「ひろしまフラワーフェスティバル」は毎年5月3日から5日までの3日間開催され、広島を中心部である平和大通りや平和記念公園などに設置されたステージ、また周辺施設などでの演奏と歌やダンス、そして平和大通りでの各種団体によるパレードと“よさこい”など多彩なパフォーマンス、多くの物産販売などに、160万人を超える人出がある日本国内でも有数のお祭りです。

今年の「ひろしまフラワーフェスティバル」は、5月3日の開会式後には雨が降り始め、生憎の天気の中でのパレードとなり、“マリアッチ”も楽器を抱えてのステージからステージへの移動に苦慮しましたが、翌日からの2日間は時折強風が吹くものの、晴天の空の下、パフォーマンスが繰り広げられました。

当親善協会が招聘した“マリアッチ”は、日本で活躍している実力派ミュージシャンによる特別編成ユニットであり、グアナファト州にあるテキーラメーカーのコラレホ社日本事務所のプロモートによるもので、『マリアッチ・コラレホ』として、各ステージに計5回出演しました。

5月2日、ANAクラウンプラザホテル広島で行われた前夜祭から登場し、広島での“マリアッチ”の認知度はまだまだですが、来場者は大変興味深げに演奏と歌に聞き入り、陽気なラテンミュージックには会場内大変盛り上がり、演奏後も“マリアッチ”との写真撮影が閉会まで続きました。

5月4日からダンサーも加わり、各ステージ共に、来場者からの拍手喝采を浴びていました。「ひろしまフラワーフェスティバル」に“マリアッチ”が受け入れられ、広島とメキシコ、グアナファト州との文化交流を深めることができました。

また、“マツダ Zoom-Zoom ひろば”では、5月3日のマリアッチ演奏前のコスモスステージ大型スクリーンにグアナファト州のマルケス知事から広島の皆様に対するビデオメッセージが映し出されました。そして同ひろばでの、メキシコ・グアナファト州の物産販売では、テキーラやソンブレロ、ハット、シャツ、さらにはルチャリブレの覆面、そしてメキシコのお菓子などの物品を販売し、メキシコやグアナファト州のことも知ってもらう良い機会になりました。



“マリアッチ・コラレホ” 出演ステージ

5月2日（月） 19:00（8分） 前夜祭（ANA クラウンプラザホテル広島）
5月3日（火・祝） 13:45～14:15 国際交流ステージ（カーネーションステージ）
5月3日（火・祝） 15:45～16:15 コスモスステージ（マツダ Zoom-Zoom ひろば）
5月4日（水・祝） 17:15～17:45 オリーブステージ（RCC 中国放送）
5月5日（木・祝） 15:45～16:15 コスモスステージ（マツダ Zoom-Zoom ひろば）



前夜祭で演奏するマリアッチ・コラレホ



マリアッチの演奏に聞き入る来場者



5月3日、雨降る中での国際交流ステージ



ダンサーが加わった RCC オリーブステージ



5月3日、5日出演したコスモスステージ



マツダ Zoom-Zoom ひろば内での物販

